



## 2021年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月5日

上場会社名 カネコ種苗株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1376 URL <http://www.kanekoseeds.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 昌彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門、コンプ ライアンス・IT推進担当 (氏名) 長谷 浩克 TEL 027-251-1619  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月12日 配当支払開始予定日 2021年2月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第2四半期の連結業績（2020年6月1日～2020年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第2四半期	26,181	4.3	246	61.6	300	39.1	223	45.1
2020年5月期第2四半期	25,106	△0.1	152	△56.5	215	△45.1	154	△40.5

(注) 包括利益 2021年5月期第2四半期 439百万円 (105.6%) 2020年5月期第2四半期 213百万円 (△42.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第2四半期	19.16	—
2020年5月期第2四半期	13.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年5月期第2四半期	36,846	20,640	56.0	1,769.23
2020年5月期	46,792	20,401	43.6	1,748.70

(参考) 自己資本 2021年5月期第2四半期 20,640百万円 2020年5月期 20,401百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年5月期	—	11.00	—	17.00	28.00
2021年5月期	—	11.00	—	—	—
2021年5月期（予想）	—	—	—	17.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年6月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	2.3	1,550	4.2	1,650	2.3	1,150	2.5	98.57

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期2Q	11,772,626株	2020年5月期	11,772,626株
② 期末自己株式数	2021年5月期2Q	106,205株	2020年5月期	106,041株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期2Q	11,666,522株	2020年5月期2Q	11,726,068株

（注）期末自己株式数は、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式（2021年5月期2Q 72,400株、2020年5月期 72,400株）が含まれております。また、「株式給付信託（BBT）」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2021年5月期2Q 72,400株、2020年5月期2Q 13,157株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年6月1日～2020年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食産業や観光産業を中心に著しく停滞する非常に厳しい状況となりました。

国内農業の状況は、少子高齢化による食料消費の減少や農家の後継者不足等の従前からの課題に加え、コロナ禍で海外からの入国が困難となったことにより、外国人労働者に依存していた一部生産者では労働力不足となり、また、コロナ禍で外食産業の需要低迷に加え、秋口から好天に恵まれ豊作になったことから青果安となるなど、農家経営も厳しさを増しております。

このような状況のなか当社グループの業績は、農材事業・花き事業・種苗事業で堅調な推移となり、売上高261億81百万円で前年同期比10億74百万円(4.3%)の増収となり、利益面でも、営業利益2億46百万円で前年同期比94百万円(61.6%)増、経常利益3億円で前年同期比84百万円(39.1%)増、親会社株主に帰属する四半期純利益2億23百万円で前年同期比69百万円(45.1%)増となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 種苗事業

種苗事業においては、野菜種子関係でカボチャの輸出やダイコンの国内販売が減少したものの、キャベツの輸出及び海外子会社での販売が伸長したことから、売上高37億4百万円で前年同期比3.0%の増収となり、利益面でも、セグメント利益3億83百万円で前年同期比7.7%増となりました。

#### 花き事業

花き事業においては、コロナ禍での外出自粛により自宅で楽しめる家庭園芸への参加人口が増加し、家庭園芸・菜園需要が拡大したことや、積極的な営業展開が功を奏し、売上高34億12百万円で前年同期比16.3%の増収となりました。利益面でも、セグメント損失65百万円(前年同期のセグメント損失は1億6百万円)で損失は縮小いたしました。

なお、当事業は春に需要期を迎えることに伴い、第4四半期に売上高及び利益が集中的に計上される傾向があります。例年第3四半期まではセグメント損益はマイナスであります。通期では当該マイナスは解消されております。

#### 農材事業

農材事業においては、青果安による防除意欲の減退から土壌消毒剤の販売が低迷したものの、除草作業の軽減に効果的な茎葉除草剤が一般家庭へも浸透したことや、新規薬剤の積極的な推進に注力したことにより、売上高117億50百万円で前年同期比2.5%の増収となり、利益面でも、セグメント利益1億30百万円で前年同期比74.9%増となりました。

#### 施設材事業

施設材事業においては、青果安に伴う農家の節約志向から農業用フィルムの更新需要が減退したことや、養液栽培プラントの完工売上高の減少などの減収要因があったものの、台風復旧需要による農業施設用パイプの販売増、また、温室の完工売上高が増加したことから、売上高73億14百万円で前年同期比2.9%の増収となりました。利益面では、農業用フィルムの需要低迷による採算性低下や、比較的利益幅の厚い養液栽培プラントが低迷したことから利益率が低下し、セグメント利益2億3百万円で前年同期比3.9%減となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における「資産の部」の残高は、368億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して99億45百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金、商品の減少によるものであります。

また、「負債の部」の残高は、162億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して101億85百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

なお、「資産の部」における受取手形及び売掛金や商品の減少、また、「負債の部」における支払手形及び買掛金の減少は、当社グループの事業が主に第4四半期に繁忙期を迎えることに伴うものであり、毎期同様の状況となっております。

「純資産の部」の残高は、206億40百万円となり、前連結会計年度末と比較して微増となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して4億93百万円減少し、39億17百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、12億45百万円（前年同期比57.3%減）となりました。

これは主に、仕入債務の減少額115億68百万円が、売上債権の減少額89億75百万円及びたな卸資産の減少額14億42百万円を上回ったことなどによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、5億13百万円（前年同期比209.6%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得により2億14百万円、無形固定資産の取得により2億96百万円それぞれ支出したことなどによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は、12億63百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

これは主に、営業活動により使用した資金を、短期借入金で調達したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月14日の「2020年5月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,744,528	4,251,072
受取手形及び売掛金	22,835,109	13,760,508
商品	8,464,509	6,986,239
その他	1,463,318	1,961,461
貸倒引当金	△23,063	△13,988
流動資産合計	37,484,403	26,945,293
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,210,675	4,250,319
その他(純額)	2,278,100	2,361,546
有形固定資産合計	6,488,776	6,611,866
無形固定資産	96,119	384,461
投資その他の資産		
その他	2,746,406	2,927,685
貸倒引当金	△23,087	△22,664
投資その他の資産合計	2,723,319	2,905,020
固定資産合計	9,308,215	9,901,348
資産合計	46,792,619	36,846,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,903,100	11,803,270
短期借入金	—	1,490,000
未払法人税等	234,102	128,213
その他	1,511,088	1,081,440
流動負債合計	24,648,291	14,502,925
固定負債		
退職給付に係る負債	1,403,591	1,386,083
役員株式給付引当金	16,192	27,592
その他	323,016	289,297
固定負債合計	1,742,801	1,702,973
負債合計	26,391,092	16,205,899
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,491,267	1,491,267
資本剰余金	1,765,224	1,765,224
利益剰余金	16,604,614	16,628,602
自己株式	△129,522	△129,761
株主資本合計	19,731,583	19,755,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739,804	939,339
為替換算調整勘定	△41,850	△35,809
退職給付に係る調整累計額	△28,188	△18,333
その他の包括利益累計額合計	669,765	885,196
非支配株主持分	177	214
純資産合計	20,401,526	20,640,742
負債純資産合計	46,792,619	36,846,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
売上高	25,106,763	26,181,667
売上原価	21,171,333	22,122,830
売上総利益	3,935,429	4,058,837
販売費及び一般管理費	3,782,802	3,812,134
営業利益	152,627	246,702
営業外収益		
受取配当金	19,294	21,154
受取家賃	34,358	32,879
その他	23,044	10,227
営業外収益合計	76,697	64,261
営業外費用		
支払利息	6,791	6,627
為替差損	6,057	3,856
その他	735	297
営業外費用合計	13,584	10,781
経常利益	215,739	300,182
特別利益		
固定資産売却益	42,367	224
移転補償金	—	23,094
特別利益合計	42,367	23,319
特別損失		
固定資産処分損	29,050	88
特別損失合計	29,050	88
税金等調整前四半期純利益	229,056	323,413
法人税等	74,965	99,826
四半期純利益	154,091	223,587
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,073	223,550

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	154,091	223,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,537	199,535
為替換算調整勘定	△2,227	6,040
退職給付に係る調整額	10,139	9,854
その他の包括利益合計	59,449	215,430
四半期包括利益	213,541	439,017
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	213,524	438,975
非支配株主に係る四半期包括利益	17	41



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2020年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	229,056	323,413
減価償却費	114,999	118,546
移転補償金	—	△23,094
売上債権の増減額 (△は増加)	6,472,919	8,975,657
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,187,608	1,442,134
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,597,445	△11,568,339
その他	△118,816	△372,634
小計	△2,711,676	△1,104,316
法人税等の支払額	△227,166	△164,395
その他	23,974	23,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,914,868	△1,245,474
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△307,124	△214,802
有形固定資産の売却による収入	144,016	224
無形固定資産の取得による支出	△5,630	△296,606
その他	3,018	△1,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,719	△513,016
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,558,999	1,490,000
配当金の支払額	△196,716	△199,140
自己株式の取得による支出	△81,391	△238
その他	△25,863	△27,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,255,028	1,263,576
現金及び現金同等物に係る換算差額	△878	1,457
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,826,437	△493,456
現金及び現金同等物の期首残高	4,573,428	4,411,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,746,991	3,917,572

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年6月1日至2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,597,217	2,934,631	11,468,297	7,106,617	25,106,763
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,937	748	6	858	20,551
計	3,616,155	2,935,379	11,468,304	7,107,475	25,127,315
セグメント利益又は損失(△)	356,264	△106,637	74,366	211,868	535,861

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	535,861
全社費用(注)	△383,233
四半期連結損益計算書の営業利益	152,627

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年6月1日至2020年11月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	種苗 事業	花き 事業	農材 事業	施設材 事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3,704,571	3,412,753	11,750,291	7,314,051	26,181,667
セグメント間の内部売上高又は振替高	20,680	904	4	238	21,827
計	3,725,252	3,413,658	11,750,295	7,314,289	26,203,495
セグメント利益又は損失(△)	383,569	△65,617	130,034	203,614	651,600

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	651,600
全社費用(注)	△404,897
四半期連結損益計算書の営業利益	246,702

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。